

## 目 次

400kV級送電	400kV級送電専門委員会
400kV級送電専門委員会組織	( 1 )
本委員会組織	( 1 )
系統分科会組織	( 2 )
送電分科会組織	( 4 )
変電分科会組織	( 5 )
機器分科会組織	( 6 )
電圧特別委員会組織	( 7 )
第1編 総 論	( 8 )
1. 内外における超高圧送電の情勢	( 8 )
2. 委員会設立の経緯と委員会組織	( 8 )
3. 調査研究の経過と内外の情勢の推移	( 8 )
4. 各種電圧階級に対する検討結果	( 10 )
5. 400kV級送電々圧に関する最終結論	( 12 )
6. 委員会の終結と今後に残された問題点	( 12 )
第2編 系統の構成	系統分科会 ( 14 )
第1章 総 説	( 14 )
第2章 必要性と性格	( 16 )
2-1 電力需用および供給力開発の動向	( 16 )
2-2 400kV級送電の必要性	( 17 )
2-3 400kV級送電の性格	( 19 )
2-4 400kV級モデル系統の構成	( 21 )
2-5 要 約	( 22 )
第3章 送電容量と安定度	( 23 )
3-1 送電容量の考え方	( 23 )
3-2 400kV級送電線の過渡安定度	( 23 )
3-3 400kV級モデル第2期系統(300km)の過渡安定度	( 24 )
3-4 400kV級送電線の送電容量	( 26 )
3-5 外国の実例との比較	( 28 )
3-6 要 約	( 28 )
第4章 汐流制御	( 28 )
4-1 有効電力配分の目標	( 28 )
4-2 汐流制御の実際的方法	( 29 )
4-3 諸外国における実情	( 29 )
4-4 モデル系統における汐流制御	( 30 )
4-5 要 約	( 31 )
第5章 無効電力配分と電圧調整	( 31 )
5-1 無効電力配分の目標	( 31 )
5-2 無効電力調整および電圧調整の実際的方法	( 31 )

5-3	各国における無効電力調整および電圧調整の実情	( 32 )
5-4	モデル系統における無効電力配分と電圧調整	( 32 )
5-5	要 約	( 33 )
第6章	短 絡 容 量	( 34 )
6-1	海外の超高圧系統における短絡容量	( 34 )
6-2	短絡容量対策	( 34 )
6-3	モデル系統における短絡容量	( 34 )
6-4	要 約	( 35 )
第7章	商用周波異常電圧	( 35 )
7-1	商用周波異常電圧の種類と説明	( 35 )
7-2	商用周波異常電圧に関する外国の実例	( 37 )
7-3	一線接地時の健全相電圧上昇	( 37 )
7-4	負荷遮断時の電圧上昇	( 39 )
7-5	発電機の自己励磁現象	( 43 )
7-6	要 約	( 43 )
第8章	保護継電方式と高速度再閉路	( 44 )
8-1	400kV級系統の保護継電方式	( 44 )
8-2	高速度再閉路	( 45 )
8-3	要 約	( 49 )
第9章	送 電 信 賴 度	( 49 )
9-1	送電信頼度の考え方	( 49 )
9-2	外国における送電信頼度向上対策の概要	( 51 )
9-3	送電信頼度よりみた我が国における特徴と問題点	( 51 )
9-4	送電信頼度と送電電圧との関係	( 52 )
9-5	計算仮定の吟味と残された問題点	( 55 )
9-6	要 約	( 56 )
第10章	経 済 評 價	( 56 )
10-1	経済評価の考え方	( 56 )
10-2	外国における経済性の比較例	( 57 )
10-3	わが国における特徴と問題点	( 58 )
10-4	モデル系統についての試算とその検討	( 59 )
10-5	単一モデル送電線についての試算とその検討	( 61 )
10-6	計算仮定の吟味と残された問題点	( 63 )
10-7	要 約	( 63 )
第11章	建 設 時 期	( 64 )
11-1	諸 外 国 の 例	( 64 )
11-2	わが国 の 特 徴	( 64 )
11-3	わが国における問題点と検討	( 64 )
11-4	要 約	( 65 )
附録 I	外国実態調査報告書抜萃	( 66 )
II	モデル400kV級送電系統の基礎特性	( 76 )
第3編 送 電 線	.....送 電 分 科 会	( 93 )
第1章	総 説	( 93 )
第2章	送電線の性格と線路設計上の前提条件	( 98 )
2-1	400kV級送電線の性格	( 98 )
2-2	線路設計上の前提条件	( 98 )

2-2-1 電 壓	( 98 )
2-2-2 送電系統と送電容量	( 99 )
2-2-3 送電線路の周囲条件	( 99 )
第3章 電 線 設 計	( 99 )
3-1 電線のコロナ特性	( 99 )
3-1-1 超高圧送電線のコロナに対する内外の実情	( 99 )
3-1-2 コロナ雑音	( 100 )
3-1-3 コロナ損	( 102 )
3-2 送電容量と電力損失	( 104 )
3-2-1 送電容量	( 104 )
3-2-2 電力損失	( 104 )
3-3 電線の機械的問題	( 107 )
3-3-1 風圧及びその低減係数	( 107 )
3-3-2 スペーサ及びその間隔	( 108 )
3-3-3 氷 雪 害	( 110 )
3-3-4 電線振動とスティッキング	( 112 )
3-3-5 電線の時間伸び	( 113 )
3-3-6 短絡時の機械的問題	( 113 )
3-4 使用電線と導体方式	( 114 )
第4章 絶 縁 設 計	( 115 )
4-1 耐 雷 設 計	( 115 )
4-1-1 設計方針	( 115 )
4-1-2 遮蔽角	( 115 )
4-1-3 架空地線の高さ	( 115 )
4-1-4 接地抵抗	( 116 )
4-1-5 鉄塔インピーダンス	( 116 )
4-1-6 雷害事故率の推定	( 116 )
4-1-7 2回線にまたがる事故防止対策	( 117 )
4-2 標準地域における碍子箇数の選定	( 117 )
4-2-1 254×146mm 懸垂碍子を用いる場合	( 117 )
4-2-2 懸垂碍子の寸法・形状	( 118 )
4-2-3 長幹碍子	( 118 )
4-3 絶縁間隔	( 118 )
4-3-1 対地絶縁間隔(クリアランス)	( 118 )
4-3-2 線間距離	( 119 )
4-3-3 電線地上高	( 119 )
4-4 汚損地域における絶縁設計	( 119 )
4-4-1 汚損対策の重要性	( 120 )
4-4-2 汚損地域に於ける懸垂碍子の連続箇数	( 120 )
4-4-3 懸垂碍子増結以外の汚損対策の方法	( 121 )
4-4-4 外国に於ける汚損対策	( 122 )
4-4-5 汚損設計上の問題点	( 122 )
第5章 鉄塔設計と送電線建設費	( 123 )
5-1 代表的な鉄塔の設計	( 123 )
5-1-1 設計条件	( 123 )
5-1-2 各種型式鉄塔の比較	( 123 )

5-2 鉄塔型式とその建設費	( 127 )
5-2-1 線路建設費の比較	( 127 )
5-3 鉄塔設計上の技術的問題	( 128 )
5-3-1 断線条件	( 128 )
5-3-2 使用材料及び鉄塔型式	( 129 )
第6章 架空送電線実施設計上の問題	( 130 )
6-1 複導体送電線に対する内外の現状	( 130 )
6-2 支持物	( 130 )
6-3 碓子及び碍子金具、電線附属品並びに工具	( 131 )
6-3-1 日本	( 131 )
6-3-2 外国	( 133 )
6-4 工事	( 133 )
6-4-1 日本	( 133 )
6-4-2 外国	( 134 )
付録 海外の400kV級送電線と線路設計の補足資料	( 134 )

#### 第4編 変電設備 ..... 変電分科会 ( 143 )

第1章 総説	( 143 )
第2章 運転電圧と過電圧	( 145 )
2-1 運転電圧	( 145 )
2-2 過電圧	( 145 )
第3章 絶縁レベル	( 146 )
3-1 BILの系列	( 146 )
3-2 商用周波試験電圧	( 147 )
3-3 推奨BILと絶縁協調	( 149 )
第4章 変電所	( 152 )
4-1 母線接続方式	( 152 )
4-2 母線間隔及びコロナ	( 154 )
4-3 雷害に対する考察	( 160 )
4-4 運転保守その他	( 169 )
第5章 変電所における汚損に関する考察	( 170 )
5-1 まえがき	( 170 )
5-2 汚損関係現象と汚損対策	( 170 )
5-3 400kV級系統の汚損対策	( 172 )
5-4 海外における汚損対策	( 175 )
5-5 今後研究すべき問題点	( 177 )
5-6 総括	( 179 )

#### 第5編 機器 ..... 機器分科会 ( 180 )

第1章 総説	( 180 )
第2章 主要変圧器および分路リアクトル	( 182 )
2-1 組立輸送限界容量	( 183 )
2-2 インピーダンス電圧	( 185 )
2-3 三次巻線	( 185 )
2-4 負荷時タップ切換器	( 186 )
2-5 その他の	( 186 )
2-6 分路リアクトル	( 189 )

2-7 今後検討を要する問題点	(189)
第3章 遮断器	(189)
3-1 遮断容量	(189)
3-2 少電流遮断特性	(190)
3-3 同期はずれ遮断, 定格電流, その他	(190)
3-4 定格電流	(191)
3-5 各種遮断器の比較	(191)
第4章 断路器	(191)
第5章 避雷器	(192)
5-1 避雷器所要性能	(192)
5-2 構造および寸法	(193)
5-3 今後検討を要する問題点	(194)
5-4 結論	(194)
第6章 計器用変成器	(195)
6-1 コンデンサ形計器用変圧器と電力線搬送用結合コンデンサ	(195)
6-2 変流器	(197)
第7章 直列コンデンサ	(198)
7-1 設備の構成	(198)
7-2 400kV級直列コンデンサの問題点	(198)
7-3 機器の設計	(199)
7-4 結び	(200)
第8章 機器の汚損	(201)
8-1 概要	(201)
8-2 ブッシングおよびがい管類の汚損せん絡特性	(201)
8-3 汚損対策	(203)
8-4 一般機器の汚損対策	(203)
8-5 避雷器の汚損対策	(207)
附録 海外の400kV級変電設備と機器	変電、機器分科会 (207)
400kV級送電専門委員会提出資料一覧表	
1. 本委員提出資料一覧表	(220)
2. 系統分科会提出資料一覧表	(222)
3. 送電分科会提出資料一覧表	(223)
4. 変電分科会提出資料一覧表	(230)
5. 機器分科会提出資料一覧表	(234)
電気協同研究会最近の動き	(236)